

建設廃棄物のリサイクルの高度化に向けた方策検討のための調査業務公募型プロポーザル選定委員会 総合結果

評価項目	仕様書 該当箇所	評価の視点	配点	参加者別評価値	
				A社	B社
事業目的の理解度・企画全体	全体	事業の背景や目的を十分に理解し、仕様書の趣旨に沿った内容である。	40	32	34
コンクリート塊のリサイクルの現状及び課題の把握	3(1)①	コンクリート塊のリサイクルの全体像把握や需給推計が可能な既存資料の具体的な整理手法が提案されているか。	40	28	30
	3(1)②	アンケート調査及びヒアリング調査で補完する項目・内容が明確であり、補完する項目・内容を把握できる調査となっているか。	60	36	48
	3(1)③	コンクリート塊再生材の利用拡大の阻害要因が明確となる課題整理のアウトプットイメージは提案されているか。	60	42	51
コンクリート塊再生材の利用拡大に向けた対応策の提案	3(2)	整理した課題を踏まえた対応策について、技術的・経済的・法的な観点から実現可能性の評価を行う提案となっているか。	60	42	48
	3(2)	対応策の提案について、事業者独自の創意工夫が行なわれているか。	40	28	34
実施能力	全体	事業スケジュールは、計画的で実行可能なものになっているか。また、本業務を確実に遂行できる適正な体制（責任者、役割分担、業務実績やノウハウを有した人員の配置）となっているか。	40	30	28
業務実績	全体	事業者としての類似業務の実績や知見が豊富であり、本業務を確実にかつ効果的に遂行する十分な実績を有しているか。	40	32	34
予算経費及び内訳	全体	予算額及び経費の内訳は、業務内容に応じた適切な配分となっている。	20	11	8
合計			400	281	315

※評価は次の5段階で行い、評価点は項目ごとに設定した係数を掛けた点数を適用する。

**評価A:**優れている(4点) **評価B:**やや優れている(3点) **評価C:**普通(2点) **評価D:**やや劣っている(1点)  
**評価E:**劣っている(0点)

※本評価基準における最低基準点は、48点(評価値の100分の60)とする。

※選定委員会における評価が次の条件に該当する場合は採択しない。

- ・委員による評価結果の合計が、最低基準点(48点×委員数)に満たないもの
- ・評価項目いずれかについて、評価E「劣っている」という評価を累計で3項目以上受けたもの